

2025年度第1回中部学連会議・評議員会 議事録

日時 2024年12月8日 13:10～

15:30 場所 名古屋市 東桜会館

1. 会長挨拶【石倉会長】

アジア競技大会などの依頼事項もあり、評議員の皆さまもぜひ知っておいていただければと思います。

本日は、学連会議と評議員会を同時に行います。不都合が無ければ今後も同様に行いたいと思います。

2. 中部学連新体制承認【委員長】

委員長 木村

副委員長 奥村

副委員長 安田

書記 片村

会計 森

庶務 小林

承認された

3. 報告事項

1. 2024年度会計報告【会計】資料1

予算との差 交通費の値上がりや必要による宿泊代などの値上がりによることを説明

承認された

2. 全日本学生ヨット連盟学連総会報告【委員長】

- ・2024年 全日本学生ヨット選手権大会について
- ・全日本学生ヨット個人選手権大会について
 - アジア大会テストイベント検討中（JSAF と相談中）
 - 音楽イベントが同時期に開催されており宿泊費も高騰→選手の負担増加
 - 日程を移動したいが全日本470と同時期の為、日程を交渉中
- ・全日本女子学生ヨット選手権大会について
- ・財政総務委員会【財政総務委員長】資料10 全日本学生ヨット選手権大会の出場枠見直しについて 全日本学生ヨット選手権大会の実施時期見直しについて

4つの委員を新たに設立

- 1, レース委員会：レース運営
- 2, 広報委員会：広報活動
- 3, ルール委員会：規則に関して
- 4, 財政総務委員会：学連の財政総務に関すること

財政総務委員会：大会運営や部活動に関する課題がある

- ・大会日程

問題点 現状の11月初旬日程のままだと風がない

解決策

メリット：8月から9月にかけては、シーブリーズが期待できセーリングに適した時期と言える

デメリット：8.9月になると下級生が参加しにくいので検討

候補として：女子インカレ 8月 個人戦と団戦を同時期に9月にする方法

※開催時期に関しては案の為決定事項ではない

問題点 公平なレースを行うことができているか？（全日本学生ヨット選手権大会）

- ・1度の大きなミスで勝負が確定してしまう。

- ・72校のフリートレースだとスタートなどでかなりの差が出てしまう点
- ・水域枠の倍率に差がある。216年以降の更新がない。

解決策 **カットレースの検討**：1度の大きなミスで勝負が確定してしまうので中部の新人戦では、カットレースで試験的に行う。

フリー分けの検討：ゴールドフリートとシルバーフリートに分け24校でレース行う（全国的に加盟校が減っているため厳しい？）

水域枠の見直しを検討：加盟校数の基準ではなく3艇出場校数で決めることやシード枠を減らし分散することも検討（大学からヨットを始めた人にもチャンスがあるように）

学生の希望→枠を増やすためには現役を増やす。浜松医大も加盟してもらおう？（6年なので4年まで出られる。重複してもOK）
更新は、2026年が現実的
今後、アンケートの実施予定（学生の意見求む）

問題点 **大学の部活動**：現状、遠征や470の購入にかなりのお金がかかっている
少子化の影響で学生数が減っている影響で部員減少

解決策 部員の減少人材を集めるため学連で検討

4. 協議事項

1. 2025年大会・行事日程調整について【委員長】資料2

大会に関して質問：全日本はすべてトラペズイドだが、予選もトラペズイドにしたい
できない理由：少ない艇数でトラペズイドを実施してもあまり効果がない。

運営が少ないので厳しい現状がある。

他に同意見がなかったため今回はLRで実施するが、今後の課題とする。

承認された

2. 中部学連大会の大会フレームと大学レスキュー艇の運営艇割り振り

【委員長】別紙資料1

レスキュー艇に関して（2025年運営艇案参照）

名城大学は2024年度のクオリファイで2回出して頂いたので今年は名工と南山大学をクオリファイレースに入れました。

・南山の支援艇（ホミニス）使いづらい

三重大のレスキューをレース運営に使う案（協力してほしい）

フィニッシュマークやマーク回収を三重大が協力する

結果 南山で決定 愛知大学または、愛知工業大学と交代承認された

3. 2025年予算案について【会計】資料3

新たな試み：リーダーシップ育成研修

エントリー費下げる方向性 理由 あまり金があるのでエントリー費を下げる

質問 エントリー費下げる→収入25万減る

承認された

4. リーダー育成研修会について【会長】資料4

問題：学連の引継ぎや取り組みを学生に伝えられていない

研修内容：全日本学連、中部学連とはどういう組織団体なのか？我々は、学連として何をやっているのか？コンプラや情報セキュリティに関することなどを学ぶ。

方法 高山の雪山で普段とは違う環境で3日間の研修を行う

費用 10万ほど

要望 スタッフとして前年度の委員長など学連役員をした人に協力してほしい。

（苦労話や体験談を現役の学連役員に伝えてほしい。）

その他 役員のいない大学に関して自由参加 今年はお試して来年も検討（前向き）

承認された

4. 学連規約の見直しについて【会長】 資料5

- ・曖昧な役員人数の表記を明確に変更 数字を明記した。学連委員明記を明確化
- ・学連会議の実施を日曜日から**土日**が選択できるようにする。

承認された

5. レース委員ガイダンスの見直しについて【会長】

- ・レース委員に負担がかかっているという意見より見直し検討中。会長推薦以外の委員の運用は一時中断し、過去のように各大学の学生委員を通じて協力をお願いする方向で調整したい。

レース委員各大学から1名ずつ大学によって偏りが出ている。レース委員が来られないならOBの中から探してほしい。

改善してやり方を変えるのか…意見求む

承認された

6. 大会時のレスキュー艇借用料金の変更【会計】 資料6

予選大会（女子・シングル除く）は、10,000円／艇日 その他は5,000円／艇日外部借用艇は相手先基準による。

燃料は、10L～20L/日の金額を支払う。単価は、ENEOS ジェイクエストオレングロード蒲郡店の単価を基準とする。

燃料使用量について見合わない場合は、適時見直すものとする。

他団体からの借用依頼については、一定の基準を設けているが、燃料費込みを想定していたため、昨今の状況にあわせ廃止する。

燃料費の変更理由は、管理の関係燃料を買ってから清算、端数ではなくきりの良い形で行うため

その他 ガソリン缶は学連から借りられる

承認された

7. 大会参加要件への救急講習受講の要件追加全日本学生ヨット選手権大会に組み込まれたため、中部の大会についても含むこととする。

総務省消防庁のWEB講習「応急手当WEB講習 普通救命講習」を受講し、「受講証明書」を保有している。

https://www.fdma.go.jp/relocation/kyukyukikaku/oukyu/01futsu/01oukyuteatema_nabi/01_01_00.html

ただし、消防庁発行の「普通救命講習Ⅰ」もしくは日本赤十字社発行の「赤十字ベーシックライフサポーター認定証」を保有もしくはそれと同等以上の講習*を受講したことが証明できる場合はWEB講習受講を免除する。

中部→努力義務

承認された

8. 備品貸出時の有料化について【委員長】 学連備品は無償貸し出しとしていたが、使用による備品の劣化が進んでいることから、今後は有料化し備品の管理・維持費とする。

貸出料：加盟大学 5,000 円（一式）、他団体 10,000 円（一式）但しエアホーン・電池
・テープ類など消耗品は借用側で準備すること。

破損・紛失時は、同等品を購入し返却する。

使用前に支払いを完了すること。

本日の会議を持って決定事項

承認された

5. 周知事項

1. 学連選手登録について【委員長】資料7

例年同様にグーグルフォームで登録

選手は1年更新

・艇の更新に関して

今年度の秋季大会は登録済み

新艇は更新

・JSAF に関して

JSAFの会員システムが大幅に変更される。(OBさんなどにも周知をお願いします。)

現在、自動更新の方も新たに更新しないとイケない。団体会員など新しいシステムに移行する

2. 大会運営の学生補助について【会長】

大会開催時は、大会運営(陸上・海上)へ各大学から1名の運営補助員を出向させること。

ただし、部員数が9名以下の大学については、大会毎に相談し決定する。

以前の形に戻す

理由：今後の大会開催の継続性および大学間の偏りによる不公平感を無くすため。

3. 2025年度全日本学生ヨット個人選手権大会の開催フレームについて【会長】資料8

4. 2026年度秋季中部学生ヨット選手権大会の開催について【会長】

アジア大会が同時期に実施されるため、時期を早めるか他の場所(三ヶ日・津)での開催を検討する必要がある。決定は、第2回会議とする。

問題 9月の頭からハーバーが使えない。

解決策 8月の頭にインカレ予選にするなど場所と時間を変える。

2025年のプレアジア大会は使える

・セキュルティー問題 荷物検査対象に艇庫村を入れるのか？

今後、各大学と検討

5. ルール変更に伴う講習会の開催について【会長】

中部セーリングクラブ主催にて3月~5月に有料にてルール講習会を実施予定(有料)

3月のレースは新ルールでやる。14条と18条の変更あり

6. 新入生へのヨット教室実施について【会長】資料9

昨年実施したが、2025年度も実施を求める声があるか確認したい

要望 ディンギーの試乗会もやってほしい→各大学できているが今後検討。

結論 計画はするが相談

7. 海陽ヨットハーバーからのお願い【海陽 YH】

救命講習会など 3月22日土曜日に実施

各大学人数規制あり

3月に津波警報の避難訓練を午前中にやる

告知なしで行う。

体験乗船、ヨット教室4月、5月

6. その他

1. アジア大会への協力について【アジア大会実行委員会】テストイベントも含め、レスキュー艇を運営艇として借用させていただきたい。

他水域から貸出しお願いが来ても貸し出さないようお願いしたい。

(2024年11月実施の全日本学連総会で依頼済み)

4海面を作り1海面を個人戦

アジア大会の運営に学生が全員参加してほしい。

2. 第89回全日本学生ヨット選手権大会 大会報告【参加大学主将】

以上